



▲国見町の取り組みを紹介する村上町長



▲サミットの様子に耳を傾ける観衆

5月25日(月)観月台文化センターにて、福島県内で歴史まちづくりに取り組む、会津若松市、白河市、国見町、棚倉町、柳津町の5都市が一堂に会する「福島県歴史まちづくりサミット 2026in 国見」を開催し、約200人が参加しました。

はじめの記念講演では、国土交通省都市局公園緑地・景観課課長補佐の宇川裕亮氏から「歴史まちづくり法の概要や近年の動向について」また、岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター長の八重樫忠郎氏から「世界遺産・平泉を参考事例に歴史遺産を活かしたまちづくりについて」、それぞれ講演をいただきました。

つづいて、パネルディスカッションでは、県内5都市の首長・関係者が登壇し、「各都市の取組について」と「人口減少を乗り越えるための歴史まちづくりについて」の2つのテーマについて意見交換がなされました。

国見町では、歴史まちづくりの取組である「内谷春日神社 太々神楽」の事例を紹介し、地域に根差した祭礼が地域を超えて外部の人たちとの関係が構築されている成功例として報告されました。人口減少等の様々な課題がある中で、今後明るい未来を築いていくために「歴史」と「持続可能なまちづくり」をどう結び付け、どう活用し、どう未来にその価値を創造していくのかを考えるきっかけの場になったのではないのでしょうか。



▲白熱したパネルディスカッションの様子

## あつかし歴史館「こどもの日イベント」

5月2日(土)大木戸歴史むらづくりの会との共催で開催した「こどもの日イベント」は、町内外から172名の方に参加いただきました。館内では子ども服などの「おさがり交換会」やオリジナルこいのぼり作り体験・凧作り体験等のワークショップが開催され、多くの子どもたちでにぎわいました。強風にも関わらず、グラウンドでもシャボン玉や水鉄砲で元気に遊ぶ子どもたちの様子が見られました！



## 地域おこし協力隊活動日記

国見町の皆さん、  
よろしくお願ひします。



さくらい みほ  
櫻井 美穂

4月から国見町の地域おこし協力隊(フリーミッション部門)として活動しています。東京で記者・編集者をしてきた経験を活かし、国見町の魅力をどんどん発信していきたいです。そのために、まずは町内をくまなく歩き、町民の皆さんと交流しながら、国見町を知るところから始めています。



あつかし歴史館で開催されたこどもの日イベント。たくさんのこいのぼりが大空を泳ぎ、子どもたちの笑顔があふれていました。



内谷春日神社での太々神楽奉納を取材地域に受け継がれてきた伝統や、それを支える皆さんの思いに触れることができました。



幼稚園で行われた交通教室に参加横断歩道の渡り方や、信号の意味を一生懸命学ぶ姿がとても印象的でした。



国見小学校5年生の農業体験や、中学校の陸上大会の取材など、国見町のなかでたくさんのお会いや発見がありました。

国見町検定というものがあるとしたら、私は今、おそらく12級くらい。今年中には3級、来年中には初段、そして3年目には四段以上を目指したいです。そのために、どうか皆さん、私に国見町のことをたくさん教えてください！

おすすめのお店を教えてくださいのもうれしいですし、「この道がうねうねしていて面白いよ」「桃の花を見るには、ここからの眺めが一番」「うちの庭の畑はここが自慢」などなど、すてきな情報をお待ちしております。

地域おこし協力隊 櫻井

これからも、取材を通して国見町の魅力をお届けします！！

見かけた際は、ぜひお気軽に声をかけてください♪

